

令和元（2019）年5月12日
令和元（2019）年度第9回定時総会

平成30（2018）年度国際局活動報告

■平成30（2018）年度活動報告

1. 2019年7月9日から13日まで、バンクーバーのブリティッシュコロンビア大学を会場に開催されるInSEA2019バンクーバー世界大会について、連合ニュースおよびホームページを通じて会員に伝えるとともに、本大会への参加を促した。また2018年12月8日から10日まで、香港教育大学で開催された2018国際美術教育学会アジア地区(香港)会議第7回中国美術教育大会、および2018年7月18日から21日まで、ヘルシンキのアアルト大学で開催された2018国際美術教育学会ヨーロッパ地区会議についても、連合ニュース等を通じて会員に広報を行った。なお連合ニュース154号において、ヨーロッパ地区大会の報告を、佐藤真帆国際局局員（InSEA アジア評議員）および結城孝雄研究局担当理事が行った。
2. 結城孝雄研究局担当理事を中心に、10月に開催される研究発表会を活用した海外研究者との交流を検討してきた。令和元（2019）年度は、ポスター発表という形で開催することになり、第9回定時総会終了後、ホームページ等を通じて世界に広報することが決まった。
3. 日本の研究論文を海外の美術教育関係者に発信するためにも、ホームページは大変有効な手段となる。ホームページの運用が軌道にのってきたことから、英訳への取り組みなど議論を行ったが、予算や人材について検討すべき事項があることから、実施には至らなかった。
4. 設立予定のアジア地区評議会（The Asia Regional Council、略してARC）の日本代表に、直江俊雄国際局運営委員を推薦する予定である。

■令和元（2019）年度活動計画（令和元（2019）年度第9回定時総会にて報告）

1. InSEA2019バンクーバー世界大会の情報をニュースやホームページを通じて行う。
2. 第53回日本美術教育研究発表会 第1回国際ポスター研究発表部門の実施について、研究局と連携しながらホームページなどを通じてInSEA会員に広報する。
3. InSEA JAPANとして、国内研究論文の海外発信や、また研究発表会などを利用した海外研究者との交流の可能性について検討を行う。
4. InSEA JAPANの窓口及び海外向け広報を目的としたホームページの作成を検討する。